

2013年7月26日

報道機関各位

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー 坂本 克也  
幹事長 福井 純史  
広報・雑誌委員長 中谷裕二良

## 国際ロータリー2650地区2013-2014年度「ガバナー記者会見」のご案内

拝啓 盛夏の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はロータリークラブに格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、2013-2014年度坂本克也ガバナーの就任のご挨拶、方針の発表を下記の通り開催いたします。

ご多忙の時期とは存じますが、何卒ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

### 記

~~京都・大津地区(終了)~~ **【終了しました】**

日 時 平成25年7月10日(水) 15時35分～16時  
会 場 京都ホテルオークラ 3階 曲水の間

~~奈良地区~~(開催時間・部屋名が変更になっていますのでご注意ください) **【終了しました】**

日 時 平成25年7月18日(木) 15時45分～16時20分  
会 場 〒630-8301 奈良市高畑町1096 奈良ホテル 金剛の間

福井地区

日 時 平成25年8月8日(木) 15時45分～16時20分  
会 場 ユアーズホテルフクイ4階 (ルミエール)

〒910-0006 福井市中央1丁目4-8 TEL (0776) 25-3200 FAX (0776) 25-3548

内 容 国際ロータリー2650地区2013-2014年度ガバナー 坂本克也  
就任ご挨拶と本年度の方針発表

ご取材を賜る場合は事前(前日まで)に下記までご連絡いただきたくお願い申し上げます。

取材受付先 国際ロータリー2650地区広報・雑誌委員会委員長 中谷裕二良(生駒RC)

直通電話 080-4007-3437 メール [ships@kcn.ne.jp](mailto:ships@kcn.ne.jp)

以 上

2013-14 年度

国際ロータリー第 2650 地区

## R I 方針・地区方針 の 概要

[ 一般市民の皆様方へ ]

国際ロータリーは、世界初の奉仕クラブ団体であります。現在 200 以上の国と地域に 33,000 以上のクラブを擁しています。事業、専門職務分野、地域社会のリーダーである会員が、世界的ネットワークを形成し、地域社会のために、また世界のために、時間と労力、知恵を傾けて奉仕を行っています。ロータリーの標語である「超我の奉仕」は、世界で 120 万人以上の会員を誇る組織の人道的精神を言い表しています。

ロータリーの目的は、以下の通りであります。

意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とする。

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

\* 今日までのロータリーの素晴らしい奉仕事業は別紙をご高覧下さいますようお願い致します。

2012-13 年度の国際ロータリーの会長は、日本人で八潮ロータリークラブ（埼玉県）の田中作次会員です。全世界に向けて、「平和—Peace」をテーマに素晴らしい奉仕活動を展開されています。（広島での世界的“平和フォーラム”の開催等）

2013-14 年度 R I 会長のロン D . バートンさんは、ロータリークラブ創始者のポール・ハリスと同じ弁護士であります。

次年度ロン D . バートン会長のテーマは、

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」



—Engage Rotary Change Lives —

です。

これを基本にバートン会長は以下のように、考えています。

ロータリアンであるということは、週に1度例会に出席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法で、**世界を見ること**、また、その**世界における自分の役割を見ること**です。**地域社会の問題を自分自身の責任**として受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、正しい道を歩むことを意味します。

私たちは皆、**世界をより良くする活動に自ら参加**するために、ロータリーに入会しています。人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。

したがって、2013-14年度のロータリーのテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは、**「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」**です。

地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っている姿を目にするでしょう。週末に近所の公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラブと協力して何千キロも離れた学校の衛生設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法で、この世界をより良くするためにロータリアンは活動しています。

以上の会長の方針テーマを基に、第2650地区 2013-14年度 活動方針はロータリアンお一人お一人が人生を豊かに送るには、まず**人が本来持っている善の気持ち**に焦点を当て、ロータリー活動を通じてみんなの人生を豊かにしましょう。したがって、人として、またロータリアンとして原点に立ち戻ることが重要だと思います。

一般社会におきましても、教育の世界におきましても、いじめや体罰の議論が交わされています。すなわち、「**道德教育を充実させるべき**」との意見も多く出されています。

我々の奉仕をも、まず、**道德につながる “善の気持ちと善の行動”**を基本にします。

そこで、2013-14年度の地区のスローガンを、

**あなたの善から、みんなの善へ**

**— from Your Good to Our Good —**

として、

一人一人の「**善の思い**」と「**善の行動**」で社会に貢献し、ロータリアンとしての誇りを持つことが重要です。ロータリアン一人一人がこの善の思いをよび起し、善の行動をし、さらに会員各自の善の集積によって社会に大きく奉仕をすることが基本であります。

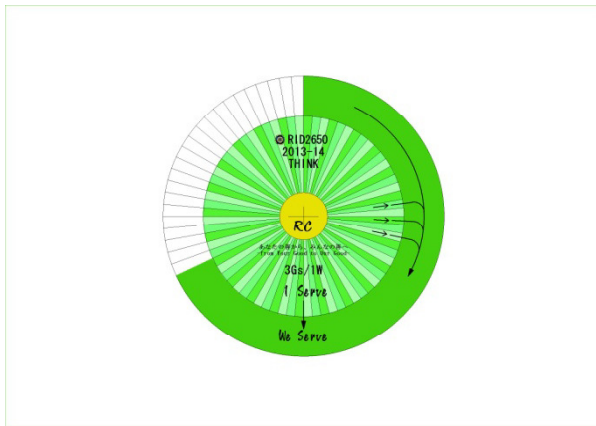
一般的に人の行動は、個人個人による行動（**個人行動**）とみんなで行う行動（**団体行動**）があります。奉仕の場面におきましては個人が、会員の一人お一人が他人様に奉仕をしようとする善の気持ちが生まれ、そして個人で奉仕をする行為（これをロータリーでは**I serve**と申します）、とこの善の精神を向上し、その結集として、みんなの善で社会に奉仕を行いましょう。団体による奉仕の基本は個人の善の気持ちが在って初めて集結いたします。

これをロータリーでは **We serve** と申します)

これは、個々のロータリアン、さらにロータリークラブのイメージ向上につながります。

あなたお一人の善の行為からみんなによるクラブでの善の行為による奉仕を行いましょう。  
 会員お1人では限界ある奉仕はクラブでの奉仕事業で行います。

以上の スローガン 方針を図式化した「ロゴマーク」を、下記に示します。



第 2650 地区 2013-14 年度 ロゴマーク

内容は、

**"あなたの善からみんなの善へ"**

[お一人の I serve の気持ち、行為] から  
 [みんなで力を合わせて奉仕をする We serve] の奉仕をしましょう。  
 その行為の具体的な方法をも示しています。

図には

- ・同心円が三つあります。この円が一つのクラブを表しています。
- ・内側の「黄色の円」●クラブの中心—クラブ名



- ・真ん中の円●は会員お一人お一人を示めています。  
 (会員数の"円弧"が在るとお考えください。)

その中の黒の矢印は[お一人、お一人、あなたの善の気持からの行動

—————> を示しています。



- ・外側の濃い緑の円弧●は、会員が力を合わせて行う奉仕を示しています。  
 (みんなの善の気持ちを合わせての奉仕行動です。)

その中の黒の円弧の矢印はその行動を示しています。

- ・円内の THINK は あなたも、みんなも まず"考えて" そして、T 楽しく・H 奉仕を・I 域に(粹に) N 仲良く・K きっちりとそしてもう一度考えよう
- ・3Gs/1Wは、"一週三善"(一週間；例会から次の例会までの間に、三つの良いことをしましょう)を示しています。

## 国際ロータリー第 2650 地区 ガバナー経歴



さかもと かつや  
**坂本 克也** (京都八幡ロータリークラブ)

生年月日 1941年10月16日生  
現住所 〒614-8002 京都府八幡市八幡土井 108-19  
最終学歴 京都大学工学部建築学科 卒業  
職業 建築家(一級建築士・JIA 登録建築家)・ 浄土宗教師  
(僧侶)  
職業分類 建築設計

### ロータリー歴

1978年 京都八幡ロータリークラブ創立;チャーターメンバー ;クラブ幹事  
1978-79年 京都八幡ロータリークラブ幹事  
1979～ 各奉仕委員会 委員長  
1989-90年 GSE 受入れ-D528 USA から5名  
1993-94年 京都八幡ロータリークラブ会長  
1994-95年 同会創立15周年記念事業実行委員長  
2003-04年 同会創立25周年記念事業実行委員長  
←国際奉仕委員長として GSE 受入れ-D9680 Australia から5名  
→GSE 派遣団団長として、D9680 Australia へ(‘04・2/18-3/30)  
2004-06年 地区 GSE 委員会委員  
2007-08年 京都八幡ロータリークラブ創立30周年記念事業実行委員長  
2008-11年 地区ガバナー補佐  
2011-12年 地区ガバナーノミネー  
【その他】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター  
米山功労者(マルチプル)

### 団体職歴

1980-1981年 (社)山城青年会議所 理事長  
1988-1997年 (社)日本建築家協会.京都会会長  
1992-1994年 (社)日本建築家協会監事  
1993-1994年 京都市市街地景観制度研究会委員  
1995-1997年 八幡市総合計画審議会委員  
1998-2004年 京都建築設計監理協会会長  
1998-2000年 (社)日本建築家協会近畿支部継続教育評議会議長  
2000-2004年 (社)日本建築家協会継続職能研修 CPD 評議会 委員  
2002年 (社)日本建築家協会基本政策課題統括委員会 委員  
2002-2003年 (社)日本建築家協会倫理規定・職能原則委員会 表彰委員会委員  
2002-2004年 やわた市民文化事業団理事  
2001-2003年 (社)日本建築家協会 副会長  
2008年 (社)日本建築家協会 選挙管理委員会委員長  
2004年-現在 (社) 京都建築設計監理協会 理事  
2004年-現在 京都大学京泳会(OB+水泳部現役)幹事